

平成30年度 湖東記念病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
3. [初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞の患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
7. [その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~
患者数	11	30	22	30	96	228	442	617	628	221

当院は開設より地方行政と地域の医療関係者の方々から力強い病々連携、病診連携をいただきながら、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科を中心に質の高い医療を目指してまいりました。当院においては60歳以上の患者さんが全体の82%を占めるようになり、滋賀県の湖東地域における高齢化を反映しております。循環器疾患、脳疾患、骨折などの外傷、さらには高齢の方の重症化症例など多種多様な疾患に対し、地域に密着した医療活動を幅広く展開しています。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副傷病なし	19	13.00	12.58	15.79	81.05	-
100380xxxxxxxx	体液量減少症	12	18.40	12.30	27.30	79.60	-
100070xx99x000	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全なし。）手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし85歳未満	11	14.36	11.05	0.00	48.09	-

040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	20.92	-	-	-
0400801499x013	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上）手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病ありA-DROPスコア3	-	-	19.87	-	-	-

高齢化が進み嚥下機能低下、脱水、それに伴う尿路感染症などの疾患が増加しています。当院では脳疾患、心疾患をもつ高齢者も多いため肺炎や腎孟腎炎などの疾患も重症化しやすく治療も長引く傾向にあります。また、高齢者では誤嚥や尿路感染をおこしやすく、一度治癒しても再発を繰り返すため再入院も増えています。

小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用バス
0400801199x00x	肺炎等（1歳以上15歳未満）手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	5.71	-	-	-
040090xxxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）定義副傷病なし	-	-	6.19	-	-	-
100290xxxxxxxx	グルコース調節・膵内分泌障害、他の内分泌疾患	-	-	5.83	-	-	-
100260xx9910xx	下垂体機能亢進症 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	-	-	6.34	-	-	-
060380xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	-	-	5.42	-	-	-

小児期のお子様は風邪をこじらせて気管支炎、肺炎になることもしばしばあり、高熱や咳が続きます。また、もともと気管支炎、肺炎になりやすいマイコプラズマやRSウイルスといった感染症もあり、流行期には入院加療が必要な場合が多くなります。低身長や思春期早発症の治療適応の判断のための負荷テストを、外来または入院で必要な場合に実施しています。腸炎は、嘔吐、下痢、発熱などの症状が出ます。原因としては、様々なウイルス、有名なものとしてノロウイルス、ロタウイルスなどがあります。流行期には、手洗いなどの感染予防が重要ですが、ロタウイルス予防にはワクチン（0～6か月未満）もあります。尚、入院加療については近隣の病院とも連携しております。

外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用バス
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	12	5.50	4.96	0.00	65.83	-
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	8.95	-	-	-
060335xx0100xx	胆囊水腫、胆囊炎等 胆囊摘出術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-	-	13.98	-	-	-
060335xx99x00x	胆囊水腫、胆囊炎等 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	10.72	-	-	-
060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	-	-	5.49	-	-	-

当院外科では一般外科、消化器外科の診断と手術等の治療を行っています。当院での抗がん剤化学療法は外科が担当しており、入院、外来ともに対応出来るように外来化学療法室を設け、化学療法外来を行っています。肛門疾患に関しては元来の保存的加療、手術に加え、内痔核硬化療法（ALTA療法）も積極的に行ってています。外来診療は月曜日から金曜日までの午前診を行っています。また、時間外診療、救急車の受入れも可能な限りお断りすることのないように心がけています。

整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用バス
160800xx01xxxx	股関節大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	49	34.65	26.30	67.35	82.47	-
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。） 手術なし 定義副傷病なし	20	27.00	19.61	45.00	84.15	-
160760xx97xxxx	前腕の骨折 手術あり	14	4.14	5.68	0.00	54.21	-
070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	12	28.33	24.26	0.00	78.75	-

07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）人工関節再置換術等	11	29.55	22.27	27.27	76.73	-
----------------	--------------------------------	----	-------	-------	-------	-------	---

高齢化に伴い当院においても股関節大腿近位骨折や胸椎腰椎以下骨折損傷（圧迫骨折）が大半を占めています。股関節大腿近位骨折は手術加療、圧迫骨折は安静加療が中心となります。

脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
010120xx01xxxx	特発性（単）ニューロパチー三叉神経節後線維切截術等	53	11.79	13.39	0.00	69.38	-
010010xx01x00x	脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	35	14.26	21.16	2.86	58.34	-
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	30	9.90	9.69	10.00	77.90	-
010010xx9906xx	脳腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等26あり	29	4.41	4.00	20.69	65.55	-
030390xx970xxx	顔面神経障害 手術あり 手術・処置等1なし	24	8.08	10.91	0.00	57.83	-

入院患者数の多い疾患は3群あります。①総数の多いものは三叉神経痛と顔面痙攣で主に微小血管減圧術を目的に入院された症例です。低侵襲手術を心がけており全国平均より在院日数は短期間となっています。②脳腫瘍は良性腫瘍が多く在院期間は全国より短くなっています。①②については近隣以外からの紹介患者が少なくありません。③頭部外傷は近隣地域からの入院で、全国平均とほぼ同じ在院日数となっています。

心臓血管外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
050180xx02xxxx	静脈・リンパ管疾患 下肢静脈瘤手術等	144	1.40	2.85	0.00	65.83	-
050080xx0111xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。）	17	26.71	37.34	17.65	80.35	-

	口入手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 1あり						
050050xx0111xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤切除術（梗塞切除を含む。） 単独のもの等 手術・処置等 1 1 , 2あり 手術・処置等 2 1あり 定義副傷病なし	17	20.29	26.73	0.00	69.88	-
050163xx03x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 ステントグラフト内挿術 手術・処置等 2なし	14	14.14	12.01	0.00	79.64	-
050080xx01010x	弁膜症（連合弁膜症を含む。） 口入手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等 1なし 手術・処置等 2 1あり 定義副傷病なし	12	17.17	24.00	0.00	67.33	-

2014年開設以来、心臓血管外科では、心臓や全身の血管の病気に対する手術を全般的に行っていきます。循環器内科医師や看護師、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士など他職種と協力し、ハートチームとして患者さんの治療にあたっています。下肢静脈瘤に対する手術件数が最も多く、1泊2日の入院もしくは日帰りで治療ができます。心臓の病気のうち、弁の不具合である弁膜症に対しては、弁を交換する弁置換と弁を修理し温存する弁形成の2つの治療法があり、患者さんにとって最適と考えられる方法を選択しています。狭心症や心筋梗塞といった冠動脈の病気に対しては、心臓を動かしたまま行う心拍動下冠動脈バイパス術を行っています。滋賀医科大学心臓血管外科の助力を頂き、質の高い手術を患者さんに提供できているため、全国平均より短い入院日数で退院されています。胸部大動脈瘤や腹部大動脈瘤に対しては、高齢の方や体力が心配な方、他の病気をお持ちの方には、カテーテルを用いた血管内治療であるステントグラフト内挿術を行っています。高齢の方であっても、術後に十分なりハビリテーションをして頂くことで、ほとんどの方が自宅に退院されています。

皮膚科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢	患者用パス
080020xxxxxxxx	帯状疱疹	- -	8.98	- -	-		
080010xxxx0xx x	膿皮症 手術・処置等 1なし	- -	12.51	- -	-		
080110xxxx0xx	水疱症 手術・処置等 2なし	- -	29.50	- -	-		
080250xx9700xx	褥瘡潰瘍 手術あり	- -	26.69	- -	-		
080250xx9701xx	褥瘡潰瘍 手術あり 手術・処置	- -	46.13	- -	-		

入院の多い疾患は帯状疱疹、膿皮症、類天疱瘡、褥瘡です。帯状疱疹は水痘・帯状疱疹ウイルスの再活性化により発症する疾患です。重症の場合は約1週間の点滴治療を要します。膿皮症は細菌感染症である丹毒や蜂窩織炎です。重症の場合、入院での点滴治療を行います。類天疱瘡は皮膚の基底膜部に対する抗体のために紅斑、びらん、水疱を生じる自己免疫疾患です。軟膏処置と水疱の発生を抑制する治療を必要とします。褥瘡は一般的に床ずれと言われるもので、長時間の圧迫により生じる皮膚潰瘍です。潰瘍が大きなものや感染を伴うものは入院での治療を要することがあります。

循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用バス
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1なし、1,2あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	376	2.99	4.47	0.27	72.03	-
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	70	19.83	17.66	7.14	85.39	-
050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1,2あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	62	2.35	3.15	0.00	72.42	-
050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1なし、1,3あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	52	9.27	11.01	5.77	79.50	-
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1,1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	38	2.13	3.01	0.00	71.11	-

循環器内科ではここ10年、年間600~700例の冠動脈に対するカテーテル治療を中心に末梢血管に対するカテーテル治療、恒久的ペースメーカー植込み術、不整脈に対するカテーテル治療（カテーテルアブレーション）を行っています。緊急カテーテル治療は年間100件程度あり、24時間365日体制をとっています。当院の特徴は、ローターブレーターの使用や慢性完全閉塞の治療などの高度な技術を追求するだけでなく、安全第一をモットーとしております。カテーテル関連の検査、治療領域におきましては、開院以来急性冠症候群に対する緊急カテーテル治療以外の待機症例での死亡例はありません。大きな後遺症を伴う重篤な合併症も皆無です。最近は心臓血管外科医と共同で腹部大動脈に対するステントグラフト内挿術も開始しております。院内設備は3つのカテーテル検査室があり、同時に3

件の緊急カテーテル検査、治療に対応できます。また、当院心臓血管外科では、冠動脈バイパス術、弁形成・置換術、腹部大動脈瘤などの開胸術、腹部大動脈や末梢血管、下肢静脈瘤手術などを行っています。当院では循環器内科医、心臓血管外科医を主に、麻酔科医、臨床工学技士、放射線技師、看護師などが対等に議論し、患者さんにとって最適と思われる方法を選択し、協力して治療を行うためにハートチームを結成しております。これから時代、心臓病で苦しんでおられる患者さんを治療するにあたり、循環器内科や心臓血管外科などの単科医師が治療方針を決めるのではなく、共同で最適な治療方針を決めなければなりません。そして、拡大した概念としては、これらの診療部門のみならず一般内科医、心臓リハビリテーション指導士、地域のかかりつけ医師、関連するコメディカル、在宅ケアチームなどが結集して一人の患者さんのために治療方針を協議して、決定するというもので、日本循環器学会、日本心臓外科学会など8学会から選出されたメンバーで構成される冠動脈血行再建協議会は、2012年に発表した「安定冠動脈疾患に対する冠血行再建術（PCI/CABG）：ステートメント&適応」で、「冠血行再建方法の選択は、内科医と外科医の共同討議を踏まえて患者に提案することが望ましい」と提言。さらに、「今後は国内で冠動脈疾患はハートチームによる治療へと進むことが予想される」とも述べられています。そして、2014年9月、ESC/EACTSガイドライン改訂版が発表されました。本ガイドラインも待機的PCIが可能な安定狭心症の患者さんには、治療前にハートチームが協議した上で、患者さんに治療の選択肢を提示することを強く推奨しています。このように国際的にも個々の患者さんで狭窄度や合併症、年齢、長期予後などを考慮した上でカテーテル治療、もしくは冠動脈バイパス術を選択することがより強く求められるようになっているのです。心不全はあらゆる疾患に伴って、心臓の動きが絶対的/相対的に低下している状態を指します。急性心筋梗塞のみならず、加齢や高血圧による心筋そのものの収縮力や拡張機能低下、弁膜症など様々な心疾患が原因となって起こる可能性があるため、循環器専門病院では必然的に症例数が増加します。近年は、心不全に対する心臓リハビリテーションの有効性が確認され、その重要性は非常に増してきております。当院ではリハビリテーション科を設け、万全の体制で治療に当たっております。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類基準 (*)	版数
	StageI	StageII	StageIII	StageIV	不明			
胃癌	-	-	-	-	-	-	1	7
大腸癌	-	-	-	-	-	-	1	7
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肝癌	-	-	-	-	-	-	1	7

※ 1 : UICC TNM分類, 2 : 癌取扱い規約

胃がん、大腸がん等に対する手術を行っていますが、胃がん、大腸がん、肝がんの手術は同じ医療法人である日野記念病院消化器センターに紹介させていただくことがあります。乳がんの診断、手術は同じく日野記念病院乳腺外科に紹介させていただいている。肺がんの診断、治療は近隣病院や大学病院の呼吸器外科に紹介させていただいている。胃がん、大腸がん、肝がん、乳がんに対する抗化学療法は当院でも対応しております。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	34	15.59	84.26
重症	25	23.60	84.72
超重症	19	25.21	89.58
不明	-	-	-

市中肺炎は抗生素で治療することが多いですが、脳疾患、心疾患を持つ高齢者では重症化しやすく治癒までの期間も長くなり、再発を繰り返す場合には治癒しないことも多くみられます。

脳梗塞の患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	128	24.05	77.17	42.75
その他	-	-	-	-

当院は急性期病院であり約9割が急性期脳梗塞の症例です。高齢化に伴い心原性脳梗塞などの重症例や基礎疾患の多い症例が増加しており、入院期間は長くなっています。病々連携で回復期リハビリ病院への転院を促進しており、転院率も高くなっています。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6335	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	12	5.50	4.96	0.00	65.83	-
K672	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	-	-	-	-
K6112	胆囊水腫、胆囊炎等 胆囊摘出術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-	-	-	-	-	-

K672-2	胆囊水腫、胆囊炎等 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	-	-	-	-	-	-
K718-21	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わない もの等	-	-	-	-	-	-

同じ医療法人である日野記念病院と、能登川病院の外科医師の協力を得て、時代に遅れることのない手術を積極的かつ安全に行うことを心がけています。また短い入院期間で退院して頂けることを心がけています。

整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨、上腕、大腿）	26	2.00	32.81	76.92	84.15	-
K0821	人工関節置換術（肩、股、膝）	23	1.57	25.65	8.70	77.00	-
K0811	人工骨頭挿入術（肩、股）	20	2.55	30.70	60.00	81.40	-
K0732	関節内骨折観血的手術（胸鎖、手、足）	12	2.08	18.00	0.00	63.67	-
K0462	骨折観血的手術（前腕、下腿、手舟状骨）	10	1.30	9.70	0.00	50.40	-

当院の整形外科では大腿近位骨折に対する骨折観血的手術や、人工骨頭挿入術が最も多くなっています。その他、変形性関節症（膝、股関節等）に対する人工関節置換術や様々な骨折に対する骨折観血的手術も行っています。

脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K160-2	頭蓋内微小血管減圧術	75	1.44	8.00	0.00	62.21	-
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	44	1.50	8.39	11.36	76.64	-
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	41	4.68	15.05	17.07	60.20	-
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	15	1.47	16.60	13.33	61.00	-
K164-5	内視鏡下脳内血腫除去術	12	1.17	34.75	75.00	73.92	-

三叉神経痛や片側顔面痙攣の手術件数は全国の中でも多く、在院日数も短くなっています。慢性硬膜下血腫は高齢者に多い疾患で、認知症状が発症することもあります。20分程度の局所麻酔下で治療可能です。脳腫瘍は良性腫瘍が多く、在院日数は短くなっています。転院症例のほとんどは症状が重篤あるいは悪性腫瘍の症例です。動脈瘤の頸部クリッピングは半数以上が未破裂症例であり、くも膜下出血を生じた破裂動脈瘤には血管内治療を行うことが多くなっています。

心臓血管外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用バス
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	134	0.00	0.40	0.00	66.02	-
K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないもの）（2吻合以上のもの）	26	2.58	17.19	7.69	67.08	-
K5551	弁置換術（1弁）	22	3.55	19.00	9.09	80.14	-
K5601二	大動脈瘤切除術（上行大動脈）（その他のもの）	15	0.93	27.80	13.33	74.87	-
K5607	大動脈瘤切除術（腹部大動脈瘤）（その他のもの）	11	2.00	15.27	0.00	71.09	-

下肢静脈瘤に対する治療経験は豊富で、切らずに行うことができるカテーテルを用いた血管内焼灼術を行っています。心臓の病気のうち、狭心症や心筋梗塞といった冠動脈の病気に対しては、心臓を動かしたまま行う心拍動下冠動脈バイパス術を行っています。また、弁の不具合である弁膜症のうち、大動脈が固くなってしまう大動脈弁狭窄症に対しては、弁を交換する弁置換を主に行っています。心臓の手術と聞くと、集中治療室で何日間も絶対安静だと想像される方が多いと思いますが、当院では手術の翌日に一般病棟へ移り、経験豊富なスタッフと共に術後の管理とリハビリテーションを行い、平均で術後20日以内に退院されています。急性大動脈解離という大動脈が裂けてしまう病気は命を奪う場合があり、当院ではそのような病気に対する緊急手術にも対応しています。胸部大動脈瘤や腹部大動脈瘤に対しては、若い方や体力がある方の場合は、長期成績に優れる人工血管を用いた大動脈置換を第一選択としています。

皮膚科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用バス
K0051	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（直径2cm未満）	-	-	-	-	-	-
K0061	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（直径3cm未満）	-	-	-	-	-	-
K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（直径6cm以上12cm未満）	-	-	-	-	-	-

-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

皮膚腫瘍に対する摘出術を行っています。小さなものには局所麻酔での日帰り手術が可能であり、大きなものについては、全身麻酔での手術になります。褥瘡でポケットや感染を伴う場合は、皮膚切開が必要とする場合があります。切開を行うことにより、感染、滲出液のコントロールが良好となり褥瘡の治癒を促進します。

循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前 日数	平均術後 日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他もの）	290	0.42	2.29	0.00	71.72	-
K5463	経皮的冠動脈形成術（その他）	79	0.11	1.46	1.27	72.67	-
K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）	35	0.71	10.31	8.57	79.34	-
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	24	1.00	5.08	4.17	76.88	-
K597-2	ペースメーカー交換術	20	0.55	8.55	0.00	82.85	-

高齢化社会に伴い、狭心症や心筋梗塞などの動脈硬化性疾患やペースメーカーを必要とする不整脈疾患が増えてきています。これに伴い当院では、再狭窄予防に優れる冠動脈ステント治療が最も多くなっています。ペースメーカー植込みが唯一の有効な治療となる徐脈性不整脈に対するペースメーカー植込み術も増加傾向にあります。

その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

[ルをダウンロード](#)

[ファイ](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	-

肺炎や腎盂腎炎などの感染症が高齢者では重症化しやすく、敗血症、播種性血管内凝固症候群となる可能性が増加します。敗血症は最も重篤な全身の炎症性疾患ですが、当院ではこのような病態はあまりみられません。しかし、脳疾患や心疾患などをもつ高齢者が多く、一旦そのような病態になれば生命の危険を及ぼすことも多くみられます。手術・処置等の合併において、脳神経外科の手術総数300件程度のうち、4例に創部感染を認めましたが、率は1.3%と低いものでした。

更新履歴

2016/10/1 「平成27年度 湖東記念病院 病院指標」公開

2017/10/1 「平成28年度 湖東記念病院 病院指標」公開

2018/10/1 「平成29年度 湖東記念病院 病院指標」 公開

2019/10/1 「平成30年度 湖東記念病院 病院指標」 公開